

製品名: CCR7 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe01773**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 43 kDa; Observed MW: 43 kDa

抗原情報

遺伝子名	CCR7 CCR7; CMKBR7; EBI1; EVI1; C-C chemokine receptor type 7; C-C CKR-7; CC-CKR-7; CCR-7;
別名	BLR2; CDw197; Epstein-Barr virus-induced G-protein coupled receptor 1; EBI1; EBV-induced G-protein coupled receptor 1; MIP-3 beta receptor; CD antigen CD19
遺伝子 ID	1236
SwissProt ID	P32248
免疫原	ヒト CCR7 の合成ペプチド

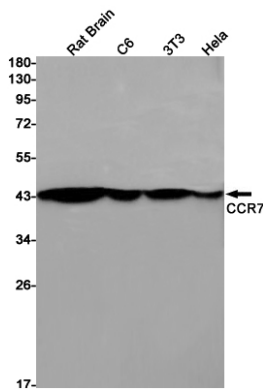
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、Gタンパク質共役受容体ファミリーのメンバーです。この受容体は、エプスタイン・バーウイルス（EBV）によって誘導される遺伝子として同定され、Bリンパ球に対するEBVの作用のメディエーターであると考えられています。この受容体は様々なリンパ組織で発現し、Bリンパ球およびTリンパ球を活性化します。炎症組織へのメモリーT細胞の遊走を制御し、樹状細胞の成熟を促進することが示されています。ケモカイン（C-Cモチーフ）リガンド19（CCL19/ECL）は、この受容体の特異的リガンドであることが報告されています。

研究分野

シグナル伝達

画像データ



CCR7 抗体を使用したラット脳、C6、3T3、Hela 溶解物中の CCR7 のウエスタン ブロット分析。